

富洲原複合型サービスセンター『サービス評価』総括表

*市町村職員： 1名 *評価委員： 1名 *地域住民： 4名 *地域包括支援センター： 1名

項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
<p>A 事業所自己評価の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業所スタッフ全員で自己評価に取組んだか 自己評価にスタッフの意見が反映されているか 改善計画は具体的か 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な目標を立て、その目標や課題の克服ができるようにする。(できないことをできないままで残さない。できない原因の追求や改善方法を検討していく) 目標についての達成度や問題点に対しスタッフ間で話をする機会を作り、定期的に自己を振り返ることができるようにする。(継続) 情報共有の徹底を図る。 自己評価の中から課題をみつけ解決しながら事業所を改善していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価に関しては、今年度も職員全員が自分の行動等を振り返り、自己評価が行えた。 目標も業務に合わせて具体的にしたので評価もしやすくなった。 自己の評価はしているが、事業所全体としての評価を職員全体で考えられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で朝夕のミーティングで情報を共有し、参加できない職員には申し送りノートや口頭で伝えている。全職員が共通認識を持ち介護計画、利用者、家族の意向や希望、利用者の状態変化にそって介護、看護支援に努めている。 日頃から、身体拘束、虐待について意見交換が行われている。またプライバシー・個人情報保護など人権意識が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングでの情報共有はもとより、ミーティングに参加できない職員との情報共有をいかに図っていくかの工夫がみられます。自己評価において出来ていない項目のフォローの実施を継続してください。 目標をしっかりとスタッフ間でよく議論されていることが伺える。 今年度取り組んだテーマが具体的にみえずどこに問題の課題が残ったのか、よりわかりやすくすると次に繋がるかな。 ミーティングの徹底によりミスをなくしサービスの向上につながっていると思います。今後も『報・連・相』を最低限実行してください。 常勤者〇人の総数が読みとりづらい。 それぞれの自己評価をもとに事務所で話し合って事業所評価に取り組み具体的にむずびつけておられることがわかります。 情報共有について改善がみられる。 回答の合計にばらつきがあるがスタッフ全員での評価は行えていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度目標のテーマをたててその目標に具体的に取組んで行く。 自己評価を実施した後、職員全体で事業所としての評価を確認していく。 情報共有の徹底を図る。『報・連・相』の徹底。 自己評価の中から課題をみつけ解決しながら事業所を改善していく。

富洲原複合型サービスセンター『サービス評価』総括表

*市町村職員： 1名 *評価委員： 1名 *地域住民： 4名 *地域包括支援センター： 1名

項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
B 事業所のしつ らえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の方が事業所に入りやすい工夫がされているか。 ・事業所内外に不快な音・臭いはなく居心地のよい空間か。 ・日中事業所の門や玄関に鍵はかかっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が過ごしやすい環境を目指し、安全で安心な環境を意識していく。 ・事業所内の危険箇所等の見直しを行う。 ・利用者さんの居心地のよい空間づくりに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所が狭いこともあり、乱雑に見えることがあるので整理整頓する。 ・利用者様の安全面を第一に考え家具のレイアウトを検討する。 ・日中事業所には鍵はかけていない。夜間のみ安全面を考慮し、定時に施錠を行っている。 ・利用者様が目で楽しめるような環境作り。（花・めだか等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関を入ったところにテーブルとソファを設置し、利用者同士や家族の来訪時に会話したり利用者が一人でゆっくり過ごす場所になっている。 ・利用者がレクリエーションで作った、切り絵や塗り絵を利用して、四季折々の花や行事をテーマにした壁面を作成するなど季節の雰囲気作りが行われている。 ・昼食に『全国の郷土料理』を参考にした献立を取りいれたり、1週間ごとの献立表の横に『今日の献立』を拡大して提示して利用者が食事を楽しめるように工夫している。 ・庭先でめだかを飼っている。春から夏の天気の良い日には、利用者がめだかをみながら成長の様子を見守っている。 ・食品や調理用の器具、手指等の洗浄をしっかり行い、盛り付けなどを行うときには必ずマスクや手袋を着用する。お弁当の配達には留守なら持ち帰り、時間が経ったら配達しない。職員も体調が悪い時には受診するなど衛生面に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔な状態が保たれていると感じます。利用者様への心配りもできていると思います。アンケート結果により利用者様とご家族様の満足度が高いものと考えられます。 ・安全・安心が重大テーマであることがよく伺え取り組みも一生懸命さがよくわかる。 ・利用者にとって恵まれた環境と設備を利用して運営して頂きたいと思います。新型コロナウイルスが流行しているので利用者の家族に不安のないやり取りを実行してください。 ・グラフから判断して居心地は良さそうである。 ・入ったところのスペースには余裕があり、またすぐに事務所があるので声がかかりやすいです。居室の居心地については利用者さんにまた尋ねて頂くと良いと思います。 ・2階の階段にドアを設置するなど安全面の改善がみられる。 ・利用者の居心地のよい空間作りについて具体策はありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が過ごしやすい環境を目指し、安全で安心な環境を意識していく。 ・事業所内の危険箇所等の見直しを行う。 ・利用者さんの居心地のよい空間づくりに取り組む。 ・感染対策にも気を配る。

富洲原複合型サービスセンター『サービス評価』総括表

*市町村職員： 1名 *評価委員： 1名 *地域住民： 4名 *地域包括支援センター： 1名

項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
C 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の挨拶・態度はきちんとしているか。 ・事業所のスタッフは地域の行事やイベントに参加しているか。 ・事業所は、地域の方に知られているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への外出行事を増やし職員と地域の方が顔見知りの関係を作る。 ・地域の祭りなど地域行事への参加を増やす。 ・地域の方と関われる企画を考え、地域との交流をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に挨拶は継続して行っています。 ・地域の方から誘って頂いた行事等に参加させていただきましたが天候により参加ができないケースもありました。 ・事業所の地域への周知は難しかったです。 ・もっと時間が経つ、事業所から地域へ繰り出す・・・ことを継続していかないと定着は難しい気がします。 ・市に出かけ近所の方との触れ合いを増やしていけるといいと思う。(せっかくこんなに近くにいるので) 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の公園を散歩したり、四九の市散策している。 ・近くのペットショップに行き可愛いペットをみて楽しんでいる。 ・同一法人のデイサービスとの交流会で一緒に食事やゲームを楽しんだり、併設デイサービスと合同夏祭り開催など、馴染みの関係を築く支援を行っている。 ・自治会、民生委員会、行政、関係機関の協力で、利用者が地域で安心して暮らせるような支援に取り組んでいる。 ・今後地域資源を活用し、定期的にボランティアを受け入れ、事業所の様子を知ってもらい『小規模多機能型居宅介護・訪問看護』の理解につながることを期待します 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の様々な行事への参加を継続していけば、認知度の向上につながると思います。特にきらく会が関係する行事への参加が知名度の向上に役立つと思います。 ・地域の祭りやイベントへの参加など積極的に取り組まれている。 ・富洲原地区は社会福祉協議会が充実していますから、参加できる地区行事を大いに利用して、利用者の心のケアに努めてください。 ・グラフの*行ってみたいところはあるか。*やってみたいゲームはあるかの回答をみていると積極的に動こうとはしていないように思える。一方でセンターにくるのは楽しいとなっている。地域との関りがねばならないになっては事業所の負担が増すだけとなる。 ・運営推進会議を通して祭りの参加など地域へのかかわりに積極的に参加し地域への溶け込みを期待します。 ・地域のお祭りなどへ参加されようと試みられておられることがわかりました。天候の都合でかなわなかったのは残念ですがあきらめず、機会を得て行ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への外出行事にきらく会関係の行事参加を加えてみる。 ・地域の祭りなど地域行事への参加を継続する。 ・地域の方と関われる企画を考え、地域との交流をはかる。 ・地域との関りが事業所の負担にならないように事業所自体が地域の中で自然体で存在できる形を考える。

富洲原複合型サービスセンター『サービス評価』総括表

*市町村職員： 1名 *評価委員： 1名 *地域住民： 4名 *地域包括支援センター： 1名

項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
D 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者を事業所の中だけに閉じ込めていないか ・利用者は地域の行事やイベントに参加しているか。 ・利用者以外の近所の方等とも事業所は関わっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の住んでいる地域をもっと知る。 ・地域の方と触れ合えるような行事を企画してみる。 ・事業所のメリットを生かした取り組みを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通いばかりでなく訪問でも取り組むべきだと思う。 ・もっと本人を知る工夫が必要（その人が暮らしてきた地域のことも含め） 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望で御在所サービスエリアに遠足にでかけ、買い物をしたり『ぜんざい』を食べて楽しんだり、富洲原地区文化祭に利用者の作品『塗り絵』を出展し、利用者職員が見学に行っている。 ・利用者や家族の希望にそった外出を計画したり、できるだけ地域の行事に参加できるような支援に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の将来への安全・安心な生活支援の場としてアピールしていけたら良いと思います。福祉講演会等で地域における福祉の中での役割等をアピールしてはいかがでしょうか。 ・積極的に出向く様取り組んでいる。また地域に人たちへの呼びかけをよく取り組まれている。 ・利用者が入所前に行っていただいていた得意分野を把握、分析して施設外で実行できることを模索してみたいでしょうか。 ・もっと自分たちのしていることをアピールしていこうと思いますではなくてこういう風にアピールしたいと考えているまで踏み込まないと前には進まない。 ・外出行事や散策ででかけられるとのこと、続けてください。地域の方に参加して頂ける企画はいいと思います。サービス内容を知ってもらうことは大切ですが、なかなか説明で理解しにくいこともありますので実際の雰囲気を知ってもらうことが大事かと思えます。年1回でも定例となり地域に覚えてもらえるといいですね。 ・事業所のアピールとともに地域で困っている方へのかかわりも期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の住んでいる地域をもっと知る。 ・地域の方と触れ合えるような行事を企画してみる。 ・事業所のメリットを生かした取り組みを考える。 ・利用者さんの状態・背景を再度確認し、支援内容に盛り込む。

富洲原複合型サービスセンター『サービス評価』総括表

*市町村職員： 1名 *評価委員： 1名 *地域住民： 4名 *地域包括支援センター： 1名

項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
E 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の取り組みが分りやすく説明されているか ・地域の心配な方々の事例検討会が行われているか。 ・運営推進会議で出た意見を改善につなげているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の活用を事業所としてもっと有意義なものにできるよう会議内容等を再検討する。 ・運営推進会議で評価いただいた課題点を具体的にまとめ改善に努める。 ・運営推進会議の内容をスタッフ間で共有する。 ・運営推進会議に本人または家族に参加してもらえようように依頼していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回の運営推進会議で地域の方と有意義な時間を持たせていただいていると感じています。 ・この運営推進会議をもっと有効に利用できるようにしたい。 ・会議の内容等も検討することが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域代表者、市町担当者、在宅支援センター職員、介護相談員などが出席して、2か月に1回開催されている。事業所からの運営状況の報告後、事業所を取り巻く環境や課題について話し合う、有意義な会議になっている。出席者からの助言・提案・意見や地域の情報を職員間で共有し事業所の運営に反映させている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の場で具体的な意見ができるように施設の見学会を企画したらよいと思います。 ・推進会議はきちんとやられているがともすれば実績報告会になってしまう。どこに問題があるかプラスしてテーマ会議を入れていくといい。 ・運営推進委員の提案事項に対して行政の取り組みが遅れているように思われます。家族会の意見を行政に提案してはいかがでしょうか。 ・どうしたら複合型を地域の中にPRしていくかを議論する時間が少ない。事業所のメリットを訴える図をたたき台として提出してもらって議論したらどうですかね。センター長が悩みを一人で抱え込んでいても前に進まない。 ・毎回地域の方のご意見を聞いて運営に取り組まれていると思います。今後は是非利用者様のご家族の参加を促していただけるとよりよいと思います。 ・運営推進会議への本人または家族の参加の準備をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議にテーマを設け、問題解決につながるような会議にしていく。 ・運営推進会議に利用者様の家族に参加してもらい、意見を聞く。 ・運営推進会議の内容を再検討し、より有意義なものにする。

富洲原複合型サービスセンター『サービス評価』総括表

*市町村職員： 1名 *評価委員： 1名 *地域住民： 4名 *地域包括支援センター： 1名

項目	内容	前回の改善計画	事業所意見	サービス評価委員	地域意見	今回の改善計画
F 事業所の防 災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所は、地域の防災訓練に参加しているか。 ・事業所の防災計画・防災訓練の内容は把握できているか ・災害時事業所は頼りになるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアルを具体的に行動できるような明確なものに見直しを行う。 ・停電に対する対策等をマニュアル化する。 ・年2回の防災訓練だけでなく、定期的に防災訓練を行う。 ・独居利用者の安否確認マニュアルの作成（再掲） ・地域の他センターとの防災に関する会議等に参加する。（したい） 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練は複合型と隣接の富洲原通所介護センターと合同で年に2回行っています。実際に動けるよう複合型単独でも年に数回行っていきたい。 ・それをみれば動けるようなマニュアルがあればいい。（事業所の見やすいところに）→みえる化 ・地域との連携（近隣）を検討し災害訓練と一緒に行ってもらえないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・併設デイサービスと合同で年2回マニュアルにそって防災訓練を実施している。利用者も参加している。運営推進会議において事業所の課題でもある、災害時の地域との協力体制について話し合っている。管理者、職員は常に防災意識をもち災害対策に取り組んでいる。 ・玄関は夜間以外は施錠せず、北k願望のある方、来訪した家族の見送り時、送迎時には玄関の見守りを強化しながら支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の備えが防災にとって大切だと思います。防災マニュアルの実践と年2回の防災訓練の質の向上に努めてください。地区の防災訓練との連携も検討する余地があるのでは？と思います。 ・『火事は起こさない』というテーマは大事だと思うがそれでも火災が起きた時にはどうしたらいいかが課題としては残る。防災訓練はもちろん大切であるがそれ以外に消防関連との交流、協議及びアドバイス等求めることも考えると良い。 ・防災訓練を利用者の家族と共に行ってはどうか？ ・火事を起こさないの徹底でいいと思います。 ・防災については火事・停電のみでなく、地域柄水害対策も必要かと思います。 ・市では防災・災害対策について出前講座を実施しております。また事業者連絡会でも議題として取り上げておりますので利用・参加を検討下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアルを具体的に行動できるような明確なものに見直しを行う。 ・停電に対する対策・水害対策等をマニュアル化する。 ・年2回の防災訓練だけでなく、1か月に1回程度訓練をセンターで行う。 ・地区の防災訓練との連携を検討する。